

平成 23 年度（2011 年度）船の科学館 基盤整備事業 事業報告書

1. 学芸振興活動

(1) 企画展等の開催

① 企画展「進水 100 周年 豪華客船タイタニック号展」の開催

豪華客船“タイタニック”の進水 100 周年を記念し、同船の造船から沈没までを振り返る企画展を、本邦初公開の“タイタニック”設計図をはじめとした数々の実物資料、建造への経緯や海難時の様子をまとめた映像、事故当時の沈みゆく“タイタニック”ジオラマ模型、「タイタニック」一等船室」再現コーナー等、よりわかりやすい展示につとめて開催した。

開催期間：平成 23 年 8 月 1 日～9 月 30 日 57 日間

開催場所：船の科学館 本館 3 階 特設会場

入場者数：123,331 名

② 企画展「ごきげんよう！ 船の科学館 ～37 年間の航跡を振り返って～」の開催

9 月 30 日をもって本館展示場の公開休止及び“羊蹄丸”の展示公開の終了に伴い、37 年間の活動や主要な出来事を写真や映像資料等で紹介する企画展等を開催した。

開催期間：平成 23 年 9 月 4 日～30 日 23 日間

開催場所：船の科学館 本館 3 階 マリタイムサルーン他

ア. 企画展「ごきげんよう！ 船の科学館」

開催期間：平成 23 年 9 月 4 日～30 日

開催場所：船の科学館 本館 3 階 マリタイムサルーン

展示内容：写真、映像、モノで語る船の科学館の 37 年間として紹介

入場者数：65,714 名

イ. 写真展「ありがとう！羊蹄丸～羊蹄丸 46 年の軌跡を綴る～」

開催期間：平成 23 年 9 月 4 日～30 日

開催場所：“羊蹄丸” アドミラルホール

展示内容：青函連絡船引退時やイタリア・ジェノバでの博覧会など、さまざまな場面での軌跡を写真と映像で紹介

入場者数：47,276 名

ウ. 船の科学館探検ツアー

開催期間：期間中の土・日・祝日

9日間

内 容：船の科学館バックヤード探検及び“羊蹄丸”船底探検

参加者数：船の科学館バックヤード探検 88名

“羊蹄丸”船底探検 90名

エ. 船の科学館と私の思い出写真館

開催期間：平成23年9月4日～29日

開催場所：船の科学館 本館3階 マリタイムサルーン

開催内容：船の科学館での思い出写真を一般募集し、会場内で掲示した後、タイムカプセルに封入した。

応募数：20点(9名)

オ. 未来へつなぐメッセージ

開催期間：平成23年9月4日～30日

開催場所：船の科学館 本館3階 マリタイムサルーン

開催内容：専用カードにメッセージを書いてもらい、会場内に掲示した後、タイムカプセルに封入した。

カ. セレモニー

● 「“羊蹄丸”新たな船出を祝う！」セレモニー

実施日時：平成23年9月30日 午後3時30分～(約60分間)

実施場所：“羊蹄丸”船上及び周辺

実施内容：“羊蹄丸”の出港準備、出港の様子等を再現した。

参加者数：3,000名

● 「ごきげんよう!船の科学館」セレモニー

実施日時：平成23年9月30日 午後4時30分～(約30分間)

実施場所：船の科学館 本館1階 海側玄関及び周辺

実施内容：本館を実際の船に見立て、出港時の様子や旗の掲揚、汽笛吹鳴を再現し本館展示場の公開休止のセレモニーを実施した。

参加者数：3,000名

キ. その他イベント

● 「さよなら羊蹄丸」エレクトーンライブ

実施日：平成23年9月23日、25日、26日

3日

実施場所：“羊蹄丸”ラウンジ

実施内容：エレクトーン奏者・尾形明範氏による青函連絡船にゆかりあるライブを開催した。

参加者数：318名

● 「飾り毛布」制作実演

実施日：平成23年9月3日、10日、17日、23日、24日、29日

6日

実施場所：“羊蹄丸”エントランスロビー

実施内容：元青函連絡船乗組員のボランティアによる飾り毛布の制作実演及び解説を実施した。

参加者数：496名

● 記念品プレゼント

実施期間：平成23年9月1日～30日

実施場所：船の科学館 本館1階ロビー

実施内容：各日先着100名に記念品として資料ガイド「船の科学館」及び「羊蹄丸」をプレゼントした。

資料ガイド12「船の科学館」 1,100部

資料ガイド「羊蹄丸」 1,500部

(2) “宗谷”の一般公開

“宗谷”の乗船者数及び公開日数は、次のとおりであった。

本年度の乗船者数 167,699名

公開日数 320日

当館の休館日に伴う未公開日数 46日

(3) “羊蹄丸”の一般公開（4月1日～9月30日）

“羊蹄丸”の乗船者数及び公開日数は、次のとおりであった。

本年度の乗船者数 98,383名

公開日数 165日

当館の休館日に伴う未公開日数 18日

(4) 図書関係

図書（逐次刊行物を含む）の充実を図り、読書ルームを一般公開した。

公開日数 165日

(5) 資料の受入

本年度においては、次のとおり資料の受け入れを行った。

- ① 購入・制作資料 船舶図面“比羅夫丸”&“田村丸” 他25件
- ② 寄贈・寄託資料 船舶模型“第一すみせ丸”(1/100) 他217件

(6) 資料の貸出

① 三菱重工業(株)名古屋誘導推進システム製作所

貸出資料：二式大型飛行艇火星22型エンジン 2基

期 間：平成23年4月1日～平成24年3月31日(継続)

② 警視庁東京湾岸警察署

貸出資料：船舶模型 カティーク 他2点

期 間：平成23年4月1日～平成24年3月31日(継続)

③ (株)TBSテレビ

目 的：TBSテレビ開局60周年記念ドラマ 日曜劇場「南極大陸」

貸出資料：宗谷乗組員名簿板等28点

貸出期間：平成23年5月6日～7月16日

④ フェルケール博物館

目 的：特別展「日本の海洋画家たち」～船の科学館コレクションより～

貸出資料：油彩画「希望万里 日本丸(Ⅱ)」等25点

貸出期間：平成23年5月19日～7月5日

⑤ 横浜みなと博物館

目 的：企画展「憧れのクルーズ」

貸出資料：船舶模型 客船“飛鳥”等6点

貸出期間：平成23年10月4日～12月10日

⑥ (株)ホテルグランパシフィック

目 的：ホテルグランパシフィック 客室「宗谷」ルームでの展示

貸出資料：“宗谷”士官用ボンク(ベッド)等5点

貸出期間：平成23年11月4日～平成24年4月4日(予定)

⑦ 日本モーターボート選手会 落合 純氏

目 的：ボートレース用スクリュープロペラの研究

貸出資料：YAMATO スピードボートのスクリーンプロペラ 1 点

貸出期間：平成 23 年 12 月 3 日～平成 24 年 3 月 1 日

⑧ 碧南市藤井達吉現代美術館

目 的：企画展「遙かなる衣が浦のみなと～海運と産業の歴史～」

貸出資料：絵図「従大坂至江戸海上図」等 2 点

貸出期間：平成 24 年 1 月 12 日～3 月 8 日

⑨ 横浜みなと博物館

目 的：企画展「横浜港と生糸貿易」

貸出資料：船舶模型「高瀬舟」等 2 点

貸出期間：平成 24 年 1 月 23 日～4 月 12 日（予定）

⑩ 呉市海事歴史科学館（大和ミュージアム）

目 的：企画展「絵画に見る海軍の歴史」（前期）

貸出資料：絵画「上海に於ける旗艦 出雲」等 14 点

貸出期間：平成 24 年 3 月 5 日～平成 24 年 5 月 25 日（予定）

⑪ 一般社団法人 えひめ東予シップリサイクル研究会

目 的：新居浜市制 75 周年記念事業“羊蹄丸”一般公開

貸出資料：油彩画「羊蹄丸」等 90 点

貸出期間：平成 24 年 3 月 25 日～7 月 31 日（予定）

⑫ 新居浜工業高等専門学校

目 的：新居浜高専創立 50 周年記念事業“羊蹄丸”一般公開

貸出資料：“羊蹄丸”写真パネル等 98 点

貸出期間：平成 24 年 3 月 23 日～7 月 31 日（予定）

(7) 写真資料の貸出

出版会社等への写真資料の貸出を行った。 40 件 159 点

(8) 博物館活動への参加

博物館相互の関係を密接にするため、各種博物館活動に参加するとともに関係する博物館と交流を図った。

● 博物館活動への参加

① 平成 23 年度全国博物館長会議

開催日：平成 23 年 6 月 15 日

場 所：文部科学省 講堂

② みなとの博物館ネットワークフォーラム平成23年度通常総会

開催日：平成23年6月16日

場 所：呉市海事歴史科学館(大和ミュージアム)

③ 日本フローティングシップ協会平成23年度定期総会

開催日：平成23年6月21日

場 所：日本郵船氷川丸

④ 平成23年度第1回東京都博物館協議会常務理事会・理事会及び(財)日本博物館協会
東京支部委員会／総会／研修会

開催日：平成23年7月28日

場 所：東京国立博物館

⑤ 平成23年度日本フローティングシップ協会研修会

開催日：平成24年1月26日

場 所：日本丸訓練センター 第1教室

⑥ 平成23年度第2回東京都博物館協議会常務理事会・理事会及び(財)日本博物館協会
東京支部委員会／総会／研修会

開催日：平成24年3月14日

場 所：東京国立博物館

⑦ みなとの博物館ネットワークフォーラムスキルアップ交流会

開催日：平成24年3月15日、16日

場 所：福井県立恐竜博物館

(9) 催事等の開催

① カヌー操船体験教室

カヌーの操船体験を通して、海と船への興味と関心を喚起するとともに、浮力や復元性等について、実体験の中から学んでもらう教室を開催した。

開催期間：平成23年4月～10月

15日間

開催場所：船の科学館 体験教室プール

参加者数：1,548名

② 帆船模型工作室「夢工房」

木製帆船模型同好会「ザ・ロープ」との連携事業として、模型制作作業を通して、制作方

法、使用器具、工程などを広く一般の見学者に紹介した。

開催期間：平成23年4月～9月の各土・日曜日 28回

開催場所：“羊蹄丸”3階ギャラリー

参加者数：4,589名

③ 講談「南極第一次観測隊物語」

講談師 宝井梅福氏が、初代南極観測船“宗谷”にまつわる物語を、臨場感溢れる講談にして来館者に伝えた。

開催期間：平成23年4月～平成24年3月 14回

開催場所：“宗谷”士官食堂等

参加者数：398名

④ 飾り毛布制作実演

元青函連絡船乗組員のボランティアによる飾り毛布を制作実演する体験教室を開催した。

開催期間：平成23年4月～9月 12回

開催場所：“羊蹄丸”エントランスロビー

参加者数：705名

⑤ 海と船のおはなし会

こどもを対象に海や船を題材にした絵本の読み聞かせ会を開催した。また後半の2回は「さわれる模型体験会」も同時に行い、目の不自由な方々も参加できるようにした。

開催期間：平成23年5月～9月 5回

開催場所：船の科学館 本館3階 読書ルーム

参加者数：316名

⑥ 読書ルーム 企画展示

当館が所蔵する本の中から、時々話題や記念日にあわせた本を一同に紹介し、パネルや資料で解説した。また、テーマにあわせて、関係者によるミニ講演会や船舶画家の先生方の資料展示等も行った。

ア. 海の日と“明治丸”

開催期間：平成23年7月1日～18日

入場者数：850名

イ. 船と海 カルタ原画展

開催期間：平成23年7月20日～8月21日

入場者数：4,488名

● 元“海王丸”船長 荒川博さんのカルタの話

開催日：平成23年8月7日

参加者数：29名

● 船と海のカルタ大会

開催日：平成23年8月13日

参加者数：38名

ウ. 野上隼夫と海洋冒険小説の世界

開催期間：平成23年8月23日～9月30日

入場者数：8,456名

⑦ セーリングカヌー操船体験教室

プロセラー西村一広氏を代表とする「Team Nishimura Project」及び東京海洋大学ヨット部OBによるセーリングカヌーの操船体験教室を行った。

開催日：平成23年6月～9月

5回

開催場所：船の科学館 体験教室プール

参加者数：522名

⑧ 海図等の展示

明治、大正、昭和期の東京湾海図を展示し、埋め立てなどによる変遷を紹介するとともに、最新の海底地形図なども展示した。

開催期間：平成23年7月14日～24日

11日間

開催場所：船の科学館 本館3階 マリタイムサルーン

参加者数：5,934名

⑨ 臨時「海の相談室」

海の月間に伴う事業として、海上保安庁海洋情報部及び(一財)日本水路協会の協力により、海洋情報に対する知識の普及啓発を図ることを目的とした臨時「海の相談室」を開催した。

開催期間：平成23年7月23日、24日

2日間

開催場所：船の科学館 本館3階 マリタイムサルーン

参加者数：807名

⑩ 江戸木造和船細工展示

ボランティアの中山幸雄氏が制作した江戸の町並みや港に停泊する船の様子を同一縮尺

で再現した「江戸湊」のジオラマ模型を展示するとともに、同氏による解説を行った。

開催期間：平成23年6月～9月 8回

開催場所：船の科学館 本館3階 和船コーナー

入場者数：14,000名

⑪ 親子で学ぶ海と船の博士塾

小学校4年生以上の親子を対象に、プロセーラー西村一広氏による船や海に関する講演会を開催した。

開催期間：平成23年4月17日

開催場所：船の科学館 シーサイドガーデン

参加者数：4名

⑫ 海の男のギャラリートーク

ボランティアグループ「海洋会」に所属する元船長や元“宗谷”乗組員等が海や船の現場で培った経験談を語った。

開催期間：平成23年7月～9月 16回

開催場所：船の科学館展示場、“宗谷”

参加者数：1,011名

⑬ ボランティアによるミュージアムツアー

本館展示について、毎回テーマを決めて分かりやすく解説するミュージアムツアーを実施した。

開催期間：随時 76回

開催場所：船の科学館 本館展示場

参加者数：11,045名

⑭ 古文書解読会

青山学院大学 名誉教授 片桐一男氏他古文書解読ボランティアグループが、船の科学館所蔵の古文書資料の解読及び基本資料「和漢船用集」の校訂作業を実施した。

開催日：随時

開催場所：船の科学館A会議室

(10) 共催・後援・協力事業

「海」「船」「環境」などをテーマとした各種事業に共催・後援・協力をを行い、海事科学知識の普及啓発に努めた。

① 練習帆船“海王丸”の出航を見送ろう！

開催期間：平成23年4月9日

開催場所：練習帆船“海王丸”及び航海訓練所専用桟橋

主催：(独)航海訓練所

参加者数：267名

② 東京港水中生物調査

開催期間：平成23年5月29日、6月26日、7月31日、8月28日 4日

開催場所：お台場海浜公園及び船の科学館周辺海域

主催：NPO法人日本水中科学協会

③ UMI イベント 体験！マリンスポーツ

開催期間：平成23年5月21日

開催場所：船の科学館及び周辺海域

主催：UMI協議会

参加者数：68名

④ 第28回「素人金魚名人戦IN船の科学館」

開催期間：平成23年6月12日

開催場所：船の科学館 本館5階デッキ

参加者数：275名

⑤ 東京海洋大学第51回海王祭「ゴム動力の船」他の工作教室

開催期間：平成23年6月4日、5日 2日間

開催場所：東京海洋大学 越中島キャンパス

主催：東京海洋大学 海王祭実行委員会

参加者数：71名

⑥ 東京海洋大学第51回海王祭「ミニ船の博物館」

開催期間：平成23年6月4日、5日 2日間

開催場所：東京海洋大学 越中島キャンパス

主催：東京海洋大学 海王祭実行委員会

入場者数：200名

⑦ 第48回関東地区中学生海の絵画コンクール

開催期間：平成23年7月31日～8月7日 8日間

開催場所：船の科学館 本館1階 エントランスホール

主催：(社)関東海事広報協会、(公財)日本海事広報協会

来場者数：9,983名

⑧ 東京港親子社会科見学会

開催期間：平成23年8月5日

開催場所：東京港内及び船の科学館

主催：東京都港湾局、(一社)東京都港湾振興協会

参加者数：105名

⑨ 造船所見学会

開催期間：平成23年8月28日

開催場所：住友重機械工業(株)マリンエンジニアリング横須賀工場

主催：(公社)日本船舶海洋工学会

参加者数：55名

⑩ 第10回水ものフェスティバル in 船の科学館

開催期間：平成23年8月28日

開催場所：船の科学館 体験教室プール

主催：水ものフェスティバル in 船の科学館実行委員会

参加者数：80名

⑪ 体験乗船会

開催期間：平成23年9月23日、24日

2日間

開催場所：“宗谷”・“羊蹄丸” 中間水域

主催：(財)日本海洋レジャー安全・振興協会

参加者数：211名

⑫ 平成23年度臨海副都心「水辺の安全教室」

開催期間：平成23年9月23日

開催場所：船の科学館 体験教室プール、そなエリア

主催：(公財)ブルーシー・アンド・グリーンランド財団

参加者数：425名

⑬ Port of Tokyo フェスティバル

開催期間：平成23年10月22日、23日

2日間

開催場所：船の科学館、青海客船ターミナル他
主 催：東京港開港70周年事業実行委員会
参加者数：27,005名

⑭ なるほど！五感ラウンジ

開催期間：平成24年3月3日
開催場所：横浜ワールドポーターズ6階イベントホール
主 催：(財)九州先端科学技術研究所
参加人数：200名

(11) 出版資料

- ① 「雛形からみた弁才船 下」
- ② 「日本とヨーロッパの歴史的乾ドックに見られる技術交流」

2. 青函連絡船“羊蹄丸”の譲渡

平成23年9月30日をもって保存公開を終了した青函連絡船“羊蹄丸”については、有効活用が可能な事業者が無償で譲渡することとし、受入先の公募を行った。公募の期限までに11団体からの申込みがあり、それら団体に譲渡後の事業計画等の質問を行い、回答のあった7団体に対してヒアリングを実施した後に審査を行った結果、譲渡先を「一般社団法人 えひめ東予シップリサイクル研究会」に決定、平成23年12月27日に無償譲渡契約を締結し、同31日に所有権の移転を行った。その後、平成24年3月25日に船の科学館をタグボートにより離岸・曳航され、同29日に係留先である愛媛県新居浜東港に着岸した。

(1) 無償譲渡の経過

公 募 発 表：平成23年7月29日
申 込 期 限：平成23年9月30日（申込団体 11団体）
ヒ ア リ ン グ：平成23年10月19日、21日（実施団体 7団体）
譲渡先の決定：平成23年11月8日
（譲渡先：一般社団法人 えひめ東予シップリサイクル研究会）
譲 渡 契 約：平成23年12月27日
譲 渡 日：平成23年12月31日
移 送：平成24年3月25日～3月29日
（船の科学館～愛媛県新居浜東港黒島埠頭）

(2) 無償譲渡資産

| | |
|--------|--------------------|
| ① 羊蹄丸 | 2,369,896,838円 |
| ② 展示品 | 271,456,910円 |
| ③ 什器備品 | <u>11,789,879円</u> |
| 合計 | 2,653,143,627円 |

3. 来館者の誘致活動

来館者の誘致活動については、大手新聞社への前売券の販売、近隣博物館やアミューズメント施設・マスメディア・公共交通機関との連携により割引入館券を配布するとともに都内の博物館・美術館共通入場券販売企画「ぐるっとパス 2011」へ参加し入館者の増大に努めた。

8月から9月にかけては、本館展示場の公開休止及び“羊蹄丸”の保存公開の終了に伴う種々の企画展やイベントを開催するとともに、7月20日の海の記念日から公開最終日の9月30日まで、入館料の特別割引を実施して来館者の誘致を図り、2か月間で12万3千人の来館者を迎えた。(年間入館者については、28ページの「10. 諸施設の利用状況等」に記載。)

4. 広報活動

各種広報活動を次のとおり実施した。

(1) 行事の実施

前出の学芸振興活動における「海」「船」「環境」などをテーマとした各種事業への共催・後援・協力を行った。

(2) 標識掲出、交通広告の実施

港区及び江東区に道路看板を3基継続掲出したほか、新交通ゆりかもめ「船の科学館駅」に案内看板を1基継続掲出した。

(3) 各種広報活動の実施

① 有効な広報手段である船の科学館ホームページの運営・更新を行うとともに、「月刊教育旅行」等の教育誌及び「東京シーサイドストーリー」(6回)、「JAFご利用ガイド」、「レインボータウンFM」(江東区タウンFM)でのスポット広告等の宣伝効果が期待できる媒体を利用し、船の科学館の案内広告を掲載した。

② 船の科学館各種行事案内リリースをマスコミやインターネット情報サイト等に発信した。

③ テレビ、ラジオ、新聞、雑誌等に取材要請をするとともに、撮影、取材、番組制作に協力

し、船の科学館の知名度の向上に努めた。

5. 諸施設の利用状況等

開館37年を迎えた船の科学館は、家族連れの個人客をはじめ都内、近県及び全国の小、中、高校生の校外学習、遠足並びに修学旅行のほか、一般団体、海事団体、障害者団体、高齢者団体等の受け入れを幅広く行うことにより、財団の目的である海事知識の普及啓発に努めた。

入館者については、本館展示場の公開休止及び“羊蹄丸”の保存公開終了までの4月から9月の有料入館者数は、157,100人(個人139,819人、団体17,281人)、無料入館者数(学生団体の教職員、招待券等)は、16,719人、“宗谷”“羊蹄丸”のみ乗船した見学者数は、1,531人となった。

10月から3月までの“宗谷”の乗船見学者数は、61,463人となり、4月から3月までの入館者数は、236,813人となった。

この他に催事・会議・セミナー参加等の施設利用者数が75,955人で、合計312,768人の来館者数となった。

体験教室プールは、カヌー及びセーリングカヌーの操船体験教室の開催のほか、「水ものフェスティバル in 船の科学館」並びに「水辺の安全教室」等の共催・協力事業や海事関係団体等にも開放し、海事知識の普及啓発に努めた。

入館者の便益施設であるレストラン「海王」及び売店「マリンショップ」は、大同企業㈱及びノムラデベロップメント㈱と施設使用契約を締結し、本館展示場の公開休止まで運営を行った。

なお、売店「マリンショップ」は、博物館活動の充実を図るため展示場に改装し、平成24年1月に「船の科学館MINI展示場」としてオープンした。